第39期 中間報告書

（2016.3.1 ～ 2016.8.31）

イオン東札幌店のヘルス&ビューティーケア売場

イオン北海道株式会社

（証券コード 7512）

株主の皆さまへ

地域に密着し、地域貢献を通して北海道でNo.1の信頼される企業を目指します。

代表取締役社長
星野三郎

平素より当社経営に関しまして格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。

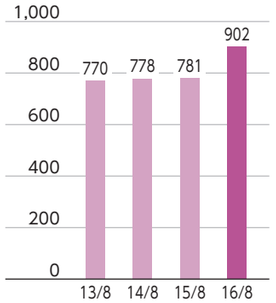
当社は2015年9月1日にダイエー事業を承継し、当事業年度を「新生イオン北海道」の本格的なスタートの年度と位置付け、この承継店舗を成長戦略の要として、積極的な投資を実施いたしました。3月には札幌麻生店、6月には東札幌店において、地域のマーケット特性に合った改装を実施した結果、業績も好調に推移しております。また11月には新さっぽろ店の改装を予定するなど、今後2年以内に承継店舗全店の活性化を実施する予定です。

また、環境社会貢献活動を中心とした地域連携にも積極的に取り組んでおります。ご利用金額の0.1％を寄付し、地域貢献活動にお役立ていただく「ご当地WAON」の拡大や、店舗が位置するすべての市町村と防災協定を締結し、災害時における地域との協力体制も構築しております。

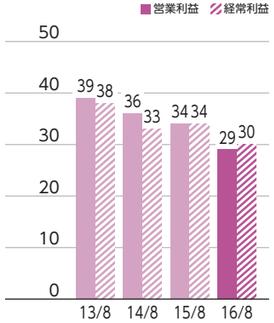
今後もスピードを持って、より地域に密着し、よりお客さま第一の店づくりに邁進いたします。株主の皆さまには引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト（第2四半期）

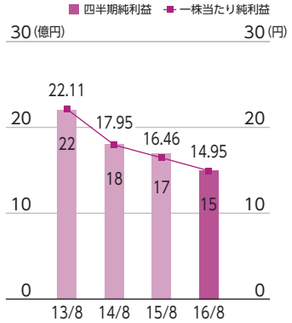
売上高 （単位：億円）



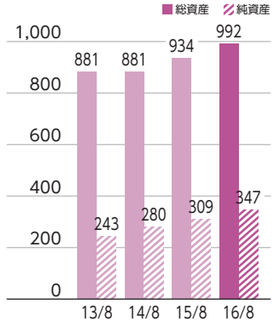
営業利益・経常利益 （単位：億円）



四半期純利益



総資産・純資産 （単位：億円）



四半期決算のポイント

【売上動向】
- 売上ではダイエー事業承継により、前年同期比115.4％、既存ベースでは98.7％となりました。
- 食品（既存店前年同期比101.5％）が好調を継続する一方で、衣料（同96.8％）、住居余暇（同97.6％）は、台風等天候の影響で苦戦いたしました。このため、3部門計の既存店前年同期比は99.7％とほぼ前年並みの売上を確保いたしましたが、計画数値に対しては若干の未達となりました。

【利益動向】
- 売上総利益率は、衣料においては売価変更の削減により、また食品と住居余暇においては値入率の改善により、3部門ともに利益率を改善することができました。
- 販管費は、ダイエー事業の承継により前年同期比120.1％になりました。事業承継に伴う人材派遣費用等の人件費の増加や、承継店舗を中心とした積極的な活性化投資による設備費の増加等、計画内ですが、一時的な経費増加も要因の1つです。
- 四半期純利益は、特別損失1億93百万円を計上し、前年同期比92.1％の15億76百万円となりました。

四半期部門別売上高実績

（単位：百万円）

	売上高	前年同期比	既存店前年同期比
衣料	17,485	9.6％増	3.2％減
食品	54,076	21.3％増	1.5％増
住居余暇	17,726	10.0％増	2.4％減

部門別売上総利益率

	売上総利益率	前期差
衣料	37.2％	＋0.3
食品	23.8％	＋0.6
住居余暇	27.3％	＋0.4

通期の見通し

- 売上高は上期に実施した活性化投資の効果の最大化を図り、前期比8.6％増の1,850億円の達成を目指します。
- 営業利益はダイエー店舗の利益改善を進めるとともに販促効率や投資効率を追求して経費効率を高め、営業利益80億円の実現を目指します。

売上高	1,850億円（前期比8.6％増）
営業利益	80億円（前期比0.9％増）
経常利益	76億円（前期比5.0％減）
当期純利益	37億円(前期比11.5％減)

イオン東札幌店　リニューアルオープン

お惣菜量り売りバイキング

当社は2015年9月にダイエー店舗を承継以来、積極的に承継店舗の活性化を実施しております。イオン東札幌店では食品売場を中心に自転車売場、花売場の活性化を実施し、2016年6月11日にリニューアルオープンをしました。

イオン東札幌店は、地下鉄東札幌駅に隣接する駅前立地で、単身世帯やシニア世帯に支持されています。より地域のニーズにお応えするため、食品売場ではお惣菜の量り売りバイキングや、イオン北海道オリジナル「あじわうひととき」のパン直送便等、選ぶ楽しさを増やしました。これからも地域の皆さまにお買物の楽しさ、便利さを提供し続けます。

「靴売場」の専門店化を実施

2015年より北海道の地域特性に合った商品とサービスをお客さまに提供するため、靴売場の専門店化を実施しております。2016年3月から8月で11店舗の靴売場の専門店化を行いました。春夏使用の靴の充実や人気のブランドスニーカー等の販売強化を行い、お客さまに喜んでいただける店づくりに取り組みました。これからも、より専門的な商品を揃え、商品知識を持った販売員を配置した売場づくりを行い、地域一番店の靴売場を目指します。

札幌桑園店

地域共通ポイントが付いた「とまチョップWAON」誕生

苫小牧市とイオングループは、北海道としては初めてご当地WAONの地域共通ポイント機能を活用した「とまチョップWAON」を2016年8月2日に発行しました。地域共通ポイント「とまチョップポイント」は、苫小牧市商店街振興組合連合会が運営する地域活性化を目的としたポイントサービスです。行政ポイントとして公共施設やスポーツイベントへの参加、健康促進イベント、ボランティア活動など様々なメニューに付与し、貯まったポイントは市内の商店街で利用できます。

とまチョップWAON

イオン北海道は、今後もお客さまに便利にご利用いただけるWAONを通じて、地域のくらしに根ざした企業として、一層の地域活性化および市民サービスの向上を図ってまいります。

「えるぼし」認定マーク取得・「イクボス企業同盟」加盟

厚生労働大臣認定「えるぼし」認定マークを取得

「イクボス企業同盟」に加盟

イオン北海道は、2014年度よりダイバーシティの推進に取り組んでおります。2016年7月1日に女性活躍推進に関する取り組みが優良な企業に与えられる厚生労働大臣認定の「えるぼし」（最高位）認定マークを取得しました。2016年8月24日にはワークライフバランス、ダイバーシティの実現を宣言し、「イクボス企業同盟」に加盟しました。イオン北海道の経営ビジョンは、「北海道で最も信頼される企業になる」ことです。このビジョンを実現するために、従業員がこれまで以上に自らの個性と能力をより発揮できる企業風土づくりに邁進いたします。

財務諸表（概要）

◆損益計算書の概要

（単位：百万円）

	第38期 2015.3.1～2015.8.31	第39期 2016.3.1～2016.8.31	増減率(%)
直営売上高	78,194	90,238	15.4
売上総利益	20,762	24,348	17.3
営業総利益	28,940	33,628	16.2
販売費及び一般管理費	25,534	30,677	20.1
営業利益	3,405	2,950	△ 13.4
経常利益	3,431	3,000	△ 12.5
四半期純利益	1,711	1,576	△ 7.9

ポイント1　売上高は前年同期比115.4%に拡大

ダイエー事業の承継により、120億43百万円、15.4%の増収となりました。衣食住の3ライン計の既存店売上では、前年同期比99.7%となり、食品が101.5%と貢献しました。

ポイント2　経常利益・四半期純利益は公表数値確保

前年下期のダイエー事業承継の影響により、営業利益等各利益は減益となりましたが、経常利益、四半期純利益は公表数値を確保しております。

◆貸借対照表の概要

（単位：百万円）

	第38期 2016.2.29	第39期 2016.8.31	増減額
流動資産	26,957	23,528	△ 3,429
固定資産	76,927	75,690	△ 1,237
有形固定資産	61,241	60,385	△ 855
無形固定資産	1,669	1,634	△ 35
投資その他の資産	14,016	13,670	△ 345
流動負債	44,229	41,798	△ 2,431
固定負債	25,510	22,705	△ 2,805
純資産	34,144	34,714	570
総資産	103,885	99,218	△ 4,666

ポイント1　有利子負債が減少

長期借入金の減少により固定負債が28億5百万円減少いたしました。短期借入金と合わせた有利子負債合計では35億12百万円減少し、有利子負債依存度は23.3%に改善されました。

ポイント2　純資産額が増加

純資産は四半期純利益15億76百万円計上し、前事業年度末に比べ5億70百万円増加しました。これにより自己資本比率も34.9%に向上いたしました。

◆キャッシュ・フローの概要

（単位：百万円）

	第38期 2015.3.1～2015.8.31	第39期 2016.3.1～2016.8.31
営業活動によるCF	236	3,993
投資活動によるCF	△ 8,474	△ 956
財務活動によるCF	8,463	△ 4,565
現金及び現金同等物の増減額	225	△ 1,529
現金及び現金同等物の期首残高	3,307	4,467
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,532	2,937

ポイント

税引前四半期純利益や減価償却費に加え、預り金の増加等により営業活動によるキャッシュ・フローは39億93百万円の収入となりました。また、配当金の支払いや長期借入金の返済等により財務活動によるキャッシュ・フローは45億65百万円の支出となりました。

会社情報

会社概要（2016年8月31日現在）

社名	イオン北海道株式会社
本社	〒003-8630　札幌市白石区本通21丁目南1-10
事業内容	総合小売業
設立	1978年4月5日
資本金	61億43万円
上場金融商品取引所 （証券コード　7512）	東京証券取引所市場第一部 札幌証券取引所
決算期	2月末日
売上高	1,703億円（2015年3月～2016年2月）
店舗数	74店舗
従業員数	8,357名
主要取引銀行	北洋銀行、三井住友信託銀行 みずほ銀行、北海道信用農業協同組合連合会、 三菱東京UFJ銀行、北海道銀行、農林中央金庫

取締役・監査役（2016年8月31日現在）

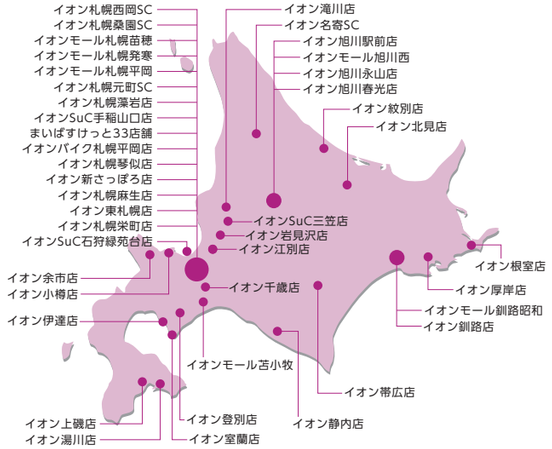
代表取締役社長	星野三郎
取締役	竹垣吉彦
取締役	橋本優
取締役	清水信昭
取締役	笠島和滋
取締役	矢野美知子
取締役	廣部眞行
常勤監査役	福元英介
監査役	吉岡征雄
監査役	福岡眞人
監査役	佐方圭二

注：矢野美知子氏、廣部眞行氏は社外取締役であります。
　　吉岡征雄氏、福岡眞人氏は社外監査役であります。
　　矢野美知子氏は旧姓の中田美知子で業務を行っております。

執行役員（2016年8月31日現在）

常務執行役員	竹垣吉彦	管理本部長
常務執行役員	橋本優	営業本部長
執行役員	笠島和滋	商品本部長兼コーディネーター部長
執行役員	大竹勇	営業本部副本部長兼営業企画部長
執行役員	清水信昭	管理本部副本部長
執行役員	山本治	営業本部道央第1事業部長
執行役員	関矢充	営業本部道央第2事業部長
執行役員	田中史之	営業本部道北事業部長
執行役員	櫻井禎久	営業本部道東事業部長
執行役員	水野良三	営業本部ＳＣ事業部長
執行役員	熊谷一弘	まいばすけっと事業部長
執行役員	豊田和宏	管理本部財務経理部長
執行役員	相馬仁美	管理本部広報・環境社会貢献部長
執行役員	渡辺昌弘	商品本部食品商品部長
執行役員	辻野裕一	経営管理統括部長兼経営企画部長

店舗情報（2016年8月31日現在）



株式の状況(2016年8月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	132,000,000株
発行済株式総数	普通株式	106,211,086株 (自己株式698,228株含む)
単元株式数		100株
株主数	普通株式	35,010名

大株主(2016年8月31日現在)

株主名	持株数 普通株式	持株比率
イオン株式会社	85,463,070株	81.0%
加藤産業株式会社	1,200,000株	1.1%
イオン北海道従業員持株会	975,842株	0.9%
株式会社北洋銀行	559,400株	0.5%
総合商研株式会社	421,800株	0.4%
イオンリテール株式会社	404,720株	0.4%
北海道コカ・コーラボトリング株式会社	380,000株	0.4%
東洋水産株式会社	319,500株	0.3%
モリリン株式会社	300,000株	0.3%
株式会社北海道銀行	280,000株	0.3%

注:持株比率の算定は、自己株式(698,228株)を除外して計算しております。

株主優待(2016年8月31日現在)

2月末日の株主名簿に記載された株主さまに、保有株式数に応じて株主様ご優待券を贈呈いたします。また500株以上保有の個人株主さまには、全国のイオングループ178店舗に開設している「イオンラウンジ」をご利用できる「株主さまカード」を発行いたします。

【株主様ご優待券の贈呈】
年1回100株以上保有の株主さまに優待券を贈呈します。

保有株式数	優待内容
100株 ～ 999株	100円券× 25枚= 2,500円分
1,000株 ～ 1,999株	100円券× 50枚= 5,000円分
2,000株以上	100円券×100枚=10,000円分

【イオンラウンジのご利用】
お買物の合間にごゆっくりとおくつろぎいただくために、ラウンジ会員さまに限定したサービスをご用意しております。全国のイオンラウンジ設置店舗にて株主さまカードをご提示のうえお気軽にご利用下さい。有効期限は発行後1年間とし、それぞれに記載されている期限とします。

【株主様ご優待券のご利用可能店舗】
株主様ご優待券は下記全国21社(※)が運営するイオン、マックスバリュ、スーパーセンター、まいばすけっと、ザ・ビッグなどの直営店舗でご利用いただけます。

(※)イオンリテール㈱、イオンリテールストア㈱、イオン北海道㈱、イオン九州㈱、イオンストア九州㈱、イオン琉球㈱、イオンビッグ㈱、マックスバリュ北海道㈱、マックスバリュ東北㈱、マックスバリュ南東北㈱、マックスバリュ関東㈱、マックスバリュ東海㈱、マックスバリュ中部㈱、マックスバリュ長野㈱、マックスバリュ北陸㈱、マックスバリュ西日本㈱、マックスバリュ九州㈱、イオンスーパーセンター㈱、㈱光洋、まいばすけっと㈱、イオンマーケット㈱

但し、酒類、タバコ、切手、印紙、はがき、商品券、プリペイドカードその他各社の指定する商品の購入、ネットショップ等ではご利用できません。一部の店舗・売場でご利用いただけない場合がございます。また、専門店でのご利用はできません。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会　毎年2月末日 期末配当金　毎年2月末日 そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
(郵便物送付先)	〒168−0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	当社ホームページに掲載いたします。 http://www.aeon-hokkaido.jp/finance_03.html

木を植えています
私たちはイオンです

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。